

きじコで健康も管理！ 電子地域通貨活用に関する連携協定締結式

電子地域通貨「きじうまコイン（きじコ）」のシステムを開発した株式会社ファイノバレ（東京都）と本市が、同通貨の決済以外の活用に関する連携協定を締結。令和7年12月22日に市役所で締結式を行いました。締結式で同社の川田修平代表取締役社長は「地域に貢献できるサービスにするため、チャレンジを共にできるとうれしい」といさつ。松岡市長は「地域住民の利便性向上と生活の向上につなげていきたい」とあいさつしました。新機能として健康管理機能を追加しています。



地域の課題解決に向け連携し活用していくことを確認した

歴史的建造物を次の世代へ 堤家住宅主屋国登録有形文化財登録

人吉城跡の対岸に位置する堤家住宅主屋（五日町）が令和7年11月17日に国登録有形文化財に登録されました。同建物は昭和初期に焼酎の製造・販売業を営む峰の露販売（現・織月酒造）の初代社長・堤治助さんが購入したもの。現在は同社3代目の堤正博会長が所有しています。

登録証の伝達式を令和7年12月22日に行い、松岡市長は「歴史的建造物の価値が認められ、大変喜ばしい」とあいさつ。堤会長は「次の世代に残る建物になることを期待している」と話していました。



広い縁側を通して球磨川を望める「主座敷」などが特徴

被災者に寄り添う日々に区切り 人吉市地域支え合いセンター閉所

令和2年7月豪雨発災後、被災者支援の拠点として開設された人吉市地域支え合いセンター。生活再建が着実に進み、それでの地域での見守り支援体制へと移行したことから、同センターは役目を終え、閉所しました。

令和7年12月25日に総合福祉センターで閉所式が行われ、松岡市長は「復興が次の段階へ進んだ象徴」とあいさつ。支援を担った地域生活相談員の振り返りでは「人の温かさ、人と人とのつながりの大切さを学んだ」といった声が聞かれました。

これまでの取り組みをまとめた記録映像も上映された

長年の地域貢献たたえて 自治会等地縁の団体功労者総務大臣表彰

長年にわたり地域活動などを通じて、地域社会の維持・形成に尽力したとして、鍛冶屋町内会長の中村良郎さんと中青井町内会長の吉田力さんと中青井町内会長の中村良郎さんが総務大臣表彰を受けました。吉田さんは平成14年から24年間、中村さんは平成13年から25年間町内会長を務め、市町内会連合会会长や各種市の委員として市政運営にも貢献されています。

令和7年12月24日には市役所で表彰伝達式が行われ、松岡市長は「今後も経験を生かし地域づくりを支えてほしい」とたたえました。



地縁団体代表として地域づくりに功績のあった人に贈られる

人吉の魅力を市内外へ発信

原丈雄さんの委嘱式を市役所で行い、中原さんは「人吉は自分力を発信したい」と意気込みを話しました。今後、ほかの3人の大使にも委嘱状を順次交付する予定です。

1月9日には第1弾として中原丈雄さんの委嘱式を市役所で行い、中原さんは「人吉は自分力を育てた原点。誇りをもって魅力を発信したい」と意気込みを話しました。今後、ほかの3人の大使にも委嘱状を順次交付する予定です。



俳優

中原 丈雄さん

Profile

人吉市出身。1951年生まれ。人吉高卒業。中島丈博監督作品「おこげ」で映画デビュー。以降映画やドラマの出演をはじめ、現代劇、時代劇問わず幅広い活動を行っている。画家として個展を開くなど芸術分野での活躍も目立つ。



市と人吉物産振興協会から中原さんに焼酎などの名産品も贈呈

人吉市観光PR大使新設

市では当市の歴史や文化、自然環境などの魅力を広く市内外にPRし、市の知名度の向上とイメージアップを図るために「人吉市観光PR大使」を新設。1月1日に本市出身で全国的に活躍されている4人（中原丈雄さん、内村宏幸さん、内村光良さん、Kilaさん）に委嘱しました。

原丈雄さんの委嘱式を市役所で行い、中原さんは「人吉は自分力を育てた原点。誇りをもって魅力を発信したい」と意気込みを話しました。今後、ほかの3人の大使にも委嘱状を順次交付する予定です。

1月9日には第1弾として中原丈雄さんの委嘱式を市役所で行い、中原さんは「人吉は自分力を育てた原点。誇りをもって魅力を発信したい」と意気込みを話しました。今後、ほかの3人の大使にも委嘱状を順次交付する予定です。

在留外国人が日本文化を体験！ 外国人のための日本文化体験会

市内在留の外国人に日本文化を体験してもらう「日本文化体験会」を、1月18日に東西コミセンで行いました。市国際交流協会の主催で、フィリピンや台湾、アメリカなど7カ国の外国人13人が参加。

体験会では、同協会員から着物を着付けてもらった後、茶道を体験。お茶の作法を真剣に学び、和菓子と抹茶を味わいました。

最後はそれぞれお気に入りのポーズで写真撮影。終始にぎやかな雰囲気の中、初めての体験と交流を深めました。今後も定期的に開催する予定です。



茶道では抹茶をたてる体験もあり、参加者は日本文化を満喫した

5年間復興支えた拠点幕引き 人吉コンテナマルシェ閉所

令和2年7月豪雨からの復興と中心市街地のにぎわい創出を目的に開設された仮設商店街「人吉コンテナマルシェ（紺屋町）」。これまでに16の事業者が入居し、各種イベントの開催などを通じて、中心市街地のにぎわいづくりに大きく貢献していました。多くの事業者が再建を果たし、一定の役割を終えたことから、昨年末に閉所。

令和7年12月27日には終了セレモニーと感謝イベントが開催され、関係者らが5年間の歩みを振り返り、復興の節目をかみしみました。



感謝祭は家族連れでにぎわいDJバンド演奏や食を楽しんだ